

世界気象機関の取り決めにより高度3万5800kmの静止軌道に、日本の「ひまわり5号」のほか、アメリカなどによって計5個の衛星が打ち上げられ、運用されていますが、ひまわり5号はニューギニアの上空に静止しています。また、極軌道にはアメリカの「ノア」2基と旧ソ連の「メテオール」4基が周回しています。

ひまわりは、1号機は今から24年前の昭和52年に打ち上げられました。5号は5年間しか使わない予定で打ち上げたのですが、打ち上げから7年以上たった現在も稼働しています。最新型の運輸多目的衛星にバトンタッチする予定ですが、平成11年11月に新しい衛星をのせたH-ロケットの打上げに失敗し、小笠原諸島近くの太平洋に落ちてしまったからです。

気象庁は次に予定していた運輸多目的衛星2機を予定を繰り上げて打ち上げることにしました。新1号機は平成15年の夏に、新2号機は平成16年度に打ち上げられる予定です。

4 気象観測衛星NOAA

NOAA衛星は米国の海洋気象庁が打ち上げた気象衛星で、地球を一周するのに約100分かかり、地球上のほぼ全域を1日に昼と夜の2回観測しています。この衛星のAVHRRデータは、画像の1点が地上の1.1kmに対応しています。従って、岐阜県程度の範囲をカバーするのに適するランドサット衛星より、広範囲の地球的規模の観測に適しています。

5 世界の画像

NOAA衛星のAVHRRデータを基に、岐阜県図書館が(社)写真測量学会に委託して千葉大学の環境リモートセンシング研究センターで作成した、世界の衛星画像の一部を紹介します。

右の図は、ヨーロッパの植生指標の季節変化です。毎日のAVHRRデータから雲の少ない日を選んで月ごとに作成したものです。緑色の濃い方が植生の多いことを示しています。異なる月の図から植生の季節変化を知ることができ、この中では7月の植生が最も多くなっています。

同様に同じ季節の経年変化から森林の減少を調べることも可能です。

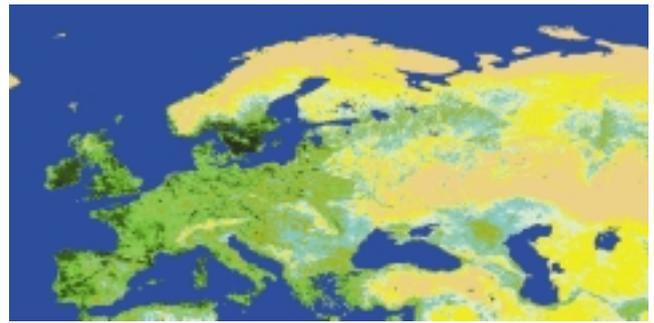


図3 ヨーロッパ植生2000年2月



図4 ヨーロッパ植生2000年4月



図5 ヨーロッパ植生2000年7月

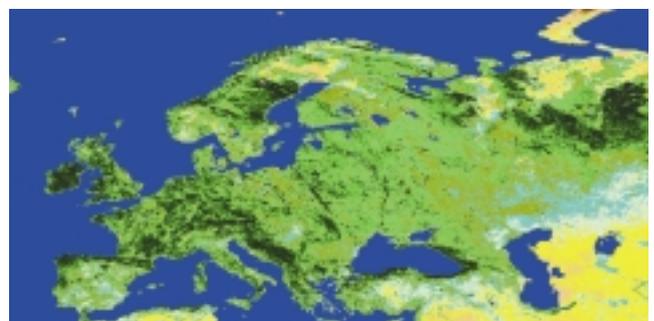


図6 ヨーロッパ植生2000年10月